

「近代法思想史」HP資料の補足追加修正（2017年7月31日）

① 本書全体にかかわる参考文献として、以下を追加
米原謙編著『「天皇」から「民主主義」まで』晃洋書房 2016年

② 各章の参考文献として、以下を追加

1章について

村岡典嗣著、前田勉編『新編日本思想史研究—村岡典嗣論文選—』平凡社、2004年

3章について

佐々木毅・金泰昌編『公共哲学1公と私の思想史』東京大学出版会、2001年
尾藤正英「明治維新と武士」『江戸時代とは何か』岩波現代文庫、2006年

5章について

松岡伸樹『審級大全』六甲出版販売、2016年

③ 各章に本文・参考文献について、以下を訂正

第1章について

19頁、書名「日本近代法の父ボワソナド」→「ボワソナド—日本近代法の父—」

第2章について

38頁、フリードリヒ・ヘーゲル

第3章について

41頁5行目 『福岡案5条「』 のあと、徴士（ちょうし）→『「徴士 [...]』
同6行目 『習を破り』 のあと、宇内（うだい）→『破り宇内の通義』
※()内はルビ

42頁 第一段落最後の「尾藤正英「公儀輿論」→「尾藤正英「明治維新と武士」」

42頁 下から8行目「そして、天の観念と結びつけられた天下の公論は、最高規範性をもつとともに、の方は」→「さらに、天の観念と結びつけられた天下の公論が、最高規範性をもつ一方で、輿論の方は」

45頁 第三段落の福澤の引用「自らずること罪人の如くし」→「自ら賤ずること罪人のごとくし」

46 頁 下から 5 行目の引用、「統一せるものなれともり我」→「統一せるものなれと もひとり我」

56 頁 板垣退助監修、遠山茂樹・佐藤誠朗校訂『自由党史』

57 頁 ルソー（本田喜代治・平岡昇訳）『人民不平等起源論』岩波文庫、1972 年 第 4 章について

61 頁 8 行目 「…君民同治なり。^つ尋みで」

62 頁 4 行目 「一方で、…」→「一方で、^{さんぼうりつ}護謗律…」

68 頁 5 行目 「植木枝盛（…）の一部」→「『西哲夢物語』の一部」

69 頁 3 行目 「憲法政体」→「憲法制定」

69 頁 12 行目の「グナイスト講義」→「^{上述}のグナイスト講義」

70 頁 下から 6 行目 「自治により住民は」→「住民が」

71 頁 2 行目 「支持基板」→「支持基盤」

第 5 章について

75 頁 1 行目 「1881 年イギリス憲法講義」→「1882 年イギリス憲法講義」

76 頁 15 行目 「予算通過語後」→「予算通過後」

90 頁 20～21 行目 「妄りに前途百年を^{ぼく}卜する」

108 頁 「ボワソナアド—日本近代法の父—」

第 7 章について

109 頁 「この章で学ぶこと」 2 行目 「被告」 → 「被告人」

111 頁 下から 5 行目 旧刑法典には、後にマルクス主義法学の…

第 8 章について

139 頁 第 3 段落 3 行目 文芸雑誌を作ることを勧めた

同頁 第 3 段落 4 行目 生田の助言と協力により同年、『青鞥』は誕生…

140 頁 上から 2 行目 与謝野は男性による庇護や国家による母性保護を…

第 9 章について

151 頁 下から 6 行目 1873 年の「日本坑法」…

163 頁 上から 5 行目 同時にマルクス主義研究も世に出ている →世に出している

第 10 章について

171 頁 上から 2 行目・8 行目 常設委任統治委員会

第 11 章について

196 頁 下から 2 行目 「そして、議会は、天皇ともに」 → 「そして、議会は、天皇ととも
に」

第 12 章について

213 頁 13 行目 「つまり、団体とは」は「つまり、**国体**とは」

220 頁 下から 4 行目 削る

※下から 3 行目に同じ文献があるため。

第 13 章について

228 頁 下から 3 行目、229 頁 8 行目 ※2 箇所、同じミス

(誤) 「国防目的達成ノ為**国**の全力ヲ最モ有効に發揮セシムル様……」

(正) 「国防目的達成ノ為**国**ノ全力ヲ最モ有効**ニ**發揮セシムル様……」

232 頁 12 行目

(誤) 革新政治がドイツの全体主義と**が**決定的に異なるところは、

(正) 革新政治がドイツの全体主義**と**決定的に異なるところは、

234 頁 12 行目

(誤) よって翼賛運動を批判しようとする型」であるとする。

(正) よ**つ**て翼賛運動を批判しようとする型」(『国防国家の理論』14 頁)であるとする。

236 頁 16 行目から 17 行目

(誤) 憲法制定権力を有すものは

(正) 憲法制定権力を有す**る**ものは

第 14 章について

256 頁

(誤) 黒田覚『日本憲法論 (上)』弘文堂書房、1940 年

(正) 黒田覚『日本憲法論 (中)』弘文堂書房、1937 年 (近デジ)

第 15 章について

275 頁

(誤) 長尾龍一『日本憲法思想史』講談社、1996 年

(正) 長尾龍一『日本憲法思想史』**講談社学術文庫**、1996 年